

令和 3 年度

社会福祉法人フィロス

事業報告



社会福祉法人フィロス

事業の概況

はじめに

令和3年度において、当法人の運営する施設は

認可保育所 12 施設

小規模保育所 9 施設

幼保連携認定こども園 1 施設

保育所型認定こども園 1 施設

複合型老人施設 1 施設 計 24 施設

(内、特別養護老人ホーム 1 拠点、ショートステイ 1 拠点)

認可保育所 12 施設

(名古屋市内 5 施設、刈谷市内 1 施設、東京都内 5 施設、横浜市内 1 施設)

小規模保育所 9 施設

(名古屋市内 6 施設、東京都内 3 施設)

幼保連携認定こども園 1 施設

(名古屋市内 1 施設)

保育所型認定こども園 1 施設

(名古屋市内 1 施設)

複合型老人施設 1 施設

(内、特別養護老人ホーム 2 拠点、グループホーム 1 拠点、ショートステイ 1 拠点)

計 24 施設 (名古屋市内 13 施設、東郷町 1 施設、刈谷市内 1 施設、東京都内 8 施設、横浜市内 1 施設) の施設運営を行っております。

※2023 年 3 月末をもって小規模保育所ソーラーナ池袋保育園を閉園。

※2022 年 4 月より星のまち保育園を 40 名の定員から 69 名の定員に変更。

※2022 年 4 月よりソーラーナいりなか・ほんじんを定員 15 名から 12 名に変更。

保育施設の現状について

「名古屋市」

令和3年4月1日における名古屋市の現状は以下の通り。

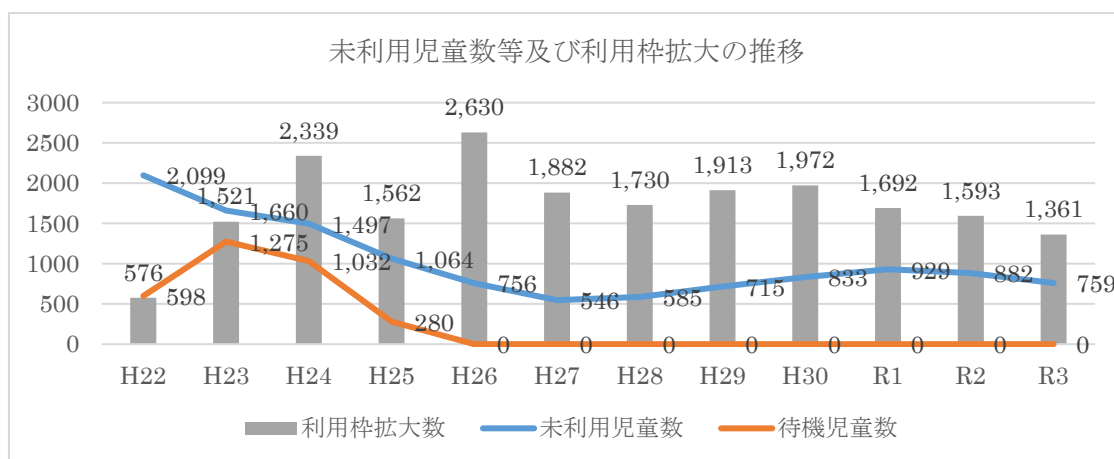
保育所等の利用申込児童数 (A) : 49,516 人 (前年比+528)

保育所等の利用児童数 (B) : 48,757 人 (前年比+651)

利用保留児童数 (C=A-B) : 759 人 (前年比▲123)

国の改正前定義に基づく除外児童数 (D) : 759 人

待機児童数 (E=C-D) : 0 人



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
未利用児童数	2,099	1,660	1,497	1,064	756	546	585	715	833	929	882	759
待機児童数	598	1,275	1,032	280	0	0	0	0	0	0	0	0
利用枠拡大数	576	1,521	2,339	1,562	2,630	1,882	1,730	1,913	1,972	1,692	1,593	1,361

(※出典：統計なごや web 版)

名古屋市、令和3年度の主な取り組み (予定)

- ・ 保育所等の整備 (6 か所)
- ・ 保育所等の定員増を伴う老朽改築 (5 か所)
- ・ 幼稚園から認定こども園への移行 (1 か所)
- ・ 賃貸方式による保育所等の設置 (13 か所)
- ・ 小規模保育事業所の設置 (2 か所)

利用枠拡大数 : 1361 人分 (うち 3 歳未満児 : 678 人)

「東京都」

令和3年7月28日において、東京都が発表した都内の保育サービスの状況によると
令和3年4月において

就学前児童数：619,296人（前年比▲12,808）

保育所利用申込児童数：321,700人（前年比+1035）

保育所利用児童数：323,703人（前年比+3145）

待機児童数：969人（前年比▲1374）

という数値を発表しています。

保育所等利用待機児童数の推移

	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
0歳	1,786	2,072	2,284	1,523	755	389	80
1歳	4,089	4,447	4,498	2,790	2,214	1,365	681
2歳	1,436	1,485	1,446	855	544	506	177
3歳	420	411	313	231	158	65	30
4歳	83	51	45	15	19	18	1
合計	7,814	8,466	8,586	5,414	3,690	2,343	969

保育所等の設置状況

	認可保育所		認証保育所	
	施設数	定員	施設数	定員
H27	2,184	216,699	700	23,912
H28	2,342	230,334	664	22,665
H29	2,558	247,105	631	21,418
H30	2,811	266,473	610	20,759
H31	3,066	285,121	575	19,551
R2	3,325	303,093	537	18,072
R3	3,477	313,364	500	16,718

（東京都発表データより）

保育所等の稼働率について

「中部」

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	稼働率
もりの風：1号舎	139	128	128	128	128	130	130	131	130	130	130	130	130	1553	129	93%
ゆめの樹	60	63	63	63	65	66	66	66	67	67	67	66	66	785	65	109%
星のまち	40	44	43	43	42	42	41	40	42	42	42	42	42	505	42	105%
にじの花	60	65	65	65	65	66	67	67	67	67	68	69	69	800	67	111%
小幡もりの風	90	88	88	90	89	88	89	90	90	88	88	88	87	1063	89	98%
植田にじの花：1号舎	99	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	98	1176	98	99%
シャイニーキッズ	60	63	63	63	67	68	67	67	67	67	67	67	67	793	66	110%
刈谷ゆめの樹	90	98	98	102	102	103	104	105	104	104	104	105	104	1233	103	114%
ソラーナひびの	15	13	13	13	14	14	14	14	15	15	15	15	15	170	14	94%
ソラーナほんじん	15	10	10	11	11	11	12	13	15	15	15	15	15	153	13	85%
ソラーナほんごう	15	10	11	10	11	12	12	11	12	12	12	12	12	137	11	76%
ソラーナいりなか	15	12	9	9	11	13	14	14	14	14	14	14	14	152	13	84%
ソラーナつゆはし	15	14	14	14	15	14	14	13	14	15	15	12	12	166	14	92%
ソラーナじょうさい	15	11	11	12	14	14	15	15	15	15	15	15	15	167	14	93%

「関東」

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	稼働率
ゆめの樹しんこいわ	60	52	53	52	52	52	55	54	55	56	56	56	56	649	54	90%
ゆめの樹おぎくぼ	80	78	78	77	76	72	75	75	74	73	73	73	73	897	75	93%
ゆめの樹たかいどにし	35	27	26	26	25	28	32	32	32	33	33	33	33	360	30	86%
ゆめの樹ほどがや	60	52	54	54	54	55	57	58	58	58	58	58	58	674	56	94%
ゆめの樹なりたにし	108	97	95	94	92	92	92	93	93	92	91	91	90	1112	93	86%
ゆめの樹はつだい	71	63	61	60	59	60	60	60	59	59	59	58	58	716	60	84%
ソラーナ池袋	9	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	7	70	6	65%
ソラーナ目白	15	14	13	13	14	14	14	15	15	15	15	15	15	172	14	96%
ソラーナやなぎくぼ	18	14	13	12	14	15	15	16	17	16	16	16	16	180	15	83%

介護施設の現状について

令和3年3月31日時点の愛知県東郷町の総人口に占める65歳以上の割合は以下の通りです。

区	総人口	65歳以上	高齢化率
東郷町和合	3,157人 (前年比+87)	638人 (前年比+15)	20.2% (前年比▲0.1)

(出典：東郷町企画部企画情報課)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
東郷町	217	280	310	272	194	184	115	1572

(出典：厚生労働省 介護保険事業報告)

R3年度 施設稼働率 (2021.4-2022.3) 介護施設

フィロスとうごう

延べ利用者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	稼働率
特養 29 床	866	899	870	899	897	861	899	870	899	882	812	850	10504	99.2%
ショート 10 名	256	284	288	286	276	286	265	246	255	267	236	271	3216	88.1%

(※延べ利用者数)

総括

社会福祉法人フィロスにおいては、名古屋市港区名港で事業を行っていたフィロスみなと（特養・GHの併合施設）を2021年3月末で事業を廃止し、社会福祉法人フロンティアへ事業の譲渡を行いました。

また、東京都豊島区の小規模保育事所ソーナ池袋保育園についても2023年3月末をもって事業の廃止、閉園とさせていただくこととなりました。

現在保育業界を取り巻く問題として、保育施設の定員割れの問題があります。

以前より大都市や中核都市などにおいては待機児童0を目指し、保育所の整備を行政が進めており、東京都・名古屋市においても毎年おおよそ1000人～2000人の利用枠受入の数を増やしており、その効果もあって待機児童の数も減少してきております。

特に待機児童の多い0歳～2歳までの受け皿確保として、2015年に認可施設の制度改正により定員が19名までの小規模保育事業所が多く整備され、2016年にはいわゆる企業主導型保育所の新設もあり、大都市や中核都市の待機児童の数は年々減少を続けております。

その反面、東京都内でも待機児童の多い世田谷区においては、2020年に区内の認証園で、待機児童が最も多くなる0～2歳児クラスでも計372人の欠員が生じたと報告があり、横浜市においても2021年において、全体の施設数886に対し、定員割れがある施設が475と割合として53.6%、半数の施設が定員割れを起こしていると発表しております。

また、最近のニュースでも京都市が9年連続で待機児童0となり、3年連続で利用申し込み児童が減少しており、市内において約6割の257施設で定員割れが起こっているとの発表がありました。

保育所等を管轄する厚生労働省においても2021年に今後保育所等を利用する児童の数は2025年にピークを迎えると見込まれる、との発表をしております。

実態として、当法人の運営する関東の保育所、小規模保育所についても利用定員に対し枠がすべて埋まっておらず定員割れが起こっております。

要因として、上記に挙げたような保育所等の整備による類似施設の増加、新型コロナウイルス感染症による影響、人口減による少子化などが原因と考えられ、今後もこの傾向は続くものと考えられます。

保育施設等の増加による保育の質の低下、需要と共有のミスマッチなどの問題もあり、今後も保育業界を取り巻く問題は当法人の運営にとっても大きな課題となっております。

今後も法人の理念として、子どもが主役の、子どもたちの最善の利益を追求することを続けていくためにも、安定した施設運営を続けていかななくてはなりません。

そのためにも利用者から選ばれる施設運営を目指し、職員の育成、環境の整備を継続し、利用者からのニーズにお応えできるような施設運営を心掛けるとともに、今後、必要であれば特に小規模保育所などについては、実態の利用者数とを鑑みて定員の減少なども視野にいれ施設が継続できるよう運営してまいります。